

2026年8月18日

～アクティオと東大レゴ部の親子向けワークショップ～ レゴ®ブロックで建機をつくる夏休みイベントを開催

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、東京大学の学内サークル「東大レゴ部」を講師に招き、2026年8月1日(土)にアクティオ本社1階のレンタルスタジオで、レゴブロックを使って建設機械の作品をつくるイベントを開催しました。



本イベントは、アクティオ社員とその家族を対象とした親子ワークショップ企画として実施し、昨年に続き2回目となります。前回の開催で寄せられた要望に応え、今回は対象範囲を未就学児まで拡大。小さなお子さまでも安心して楽しめる幼児向けブロックも新たに用意し、未就学児から小学生の児童と保護者あわせて約50名が参加しました。当日は東大レゴ部が特別に設計した建設機械のオリジナルモデルの組み立てに挑戦。参加者は部員からレクチャーを受けながら作品をつくり上げました。また、今回つくった各建設機械が建設現場でどのように活躍しているかを動画を交えながら解説。子どもたちに建設業界や建設機械への関心を深めてもらう機会となりました。

アクティオは、今後も建設業界の将来を担う人材育成と業界への関心を高める活動に積極的に取り組んでまいります。

■参加者のコメント

<社員>

・普段はなかなか家族に自分の仕事内容や会社について詳しく伝える機会が少ないので、建設機械のレンタルという仕事について知ってもらう良い機会となりました。家族に会社の魅力を伝えられるこうしたイベントは本当にありがたいです。

・子どもたちが楽しそうに過ごしてくれたのが何よりでしたし、会社がこういったイベントを用意してくれるのは本当にありがたいです。これから成長していく中で、親がどんな仕事をしているのか少しずつ理解していったら嬉しいです。

<お子さん>

・レゴを使って建設機械を作るのは初めての体験だったので、とても新鮮で楽しかったです！他の参加者の皆さんともたくさん交流できました。お母さんの会社のことや仕事についても知ることができました。

・ショベルカーなどをつくるのがとっても楽しかったです。働く車がもっと好きになりました。

■当日の様子



■東大レゴ部

2006年に東京大学で結成された東大レゴ部は、レゴブロックを使ってあらゆるものを表現するクリエイティブ集団です。コンピューターを駆使した緻密な設計をもとに、強度やデザインを綿密に計算しながらブロックを組み上げます。企業や団体から依頼を受けて作品を制作するほか、子ども向けのレゴ教室も開催。さらに、東京大学の学園祭である春の「五月祭」や秋の「駒場祭」では、毎年大型作品や個人作品を制作・発表しています。

【アクティオノート】

東大レゴ部〈インタビュー〉

「東大レゴ部の現役部員が語るレゴ愛。憧れの部活で、仲間と情熱を共有できる喜び」

<https://note.aktio.co.jp/art/20230613-1312.html>

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に

応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当：成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp